

健康づくり施策の進捗状況等について (概 要)

平成 26 年 8 月
熊本市健康づくり推進課

目 次

I 平成 25 年度の取り組み	2
II 平成 26 年度の取り組み	9

(参考資料)

具体的な施策の展開シート	資料 1-2
--------------	--------

1 平成 25 年度の取り組み

「第 2 次健康くまもと 21 基本計画」の 3 つの基本目標である「健康意識の醸成」「健康分野における地域コミュニティづくり」「健康寿命の延伸」を目指し、生活習慣病対策を含む健康づくり施策を推進した。

とりわけ、「がん」対策については、受診率の微減傾向が見受けられることから行政関係課による「がん対策ワーキング会議」及び健康くまもと 21 推進会議の委員による「がん部会」を設置し、行政並びに市民協働により受診率の向上にむけた取り組みについて検討を行った。

また、本市の健康課題である「CKD対策」については、かかりつけ医や腎臓内科専門医等の連携を図ることを目的とした「病診連携プロジェクト会議」において、病診連携システムの効果検証を行いながら効果的な方策などについて協議した。

次に、「校区単位の健康まちづくり」では、全市的な取り組みを推進するため、活動報告会を実施したのに加え、取り組みの成果を共有し活動の更なる推進を図るため関係課によるプロジェクト会議を設置し、成果指標や評価方法を検討し、「評価の手引き」を策定した。

○ 主な取り組み等

※ページ数は「資料 1-2：具体的な施策の展開シート」のページ数

<生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底>

① がん (P1~3)

【関係機関・団体】

- ・ 県立大学学生の健診待ち時間を利用し、学生へがん検診無料クーポン券の利用について説明【日赤健康管理センター】
- ・ 展示等を実施【がん予防協会】
 - ①がん予防ポスターを作り、学校、事業所等に配布。②くまもんのぬいぐるみに「検診を受けましょう」のタスキを掛けさせ医療機関、事業所、銀行などの受付に設置。③ピンバッジを作成し販売、配布。④街頭でのちらしの配布。⑤自動販売機に「がん予防を受けましょう」のラッピングを実施。
- ・ 子宮がんや消化器がん等の講演会を開催【がん予防協会】
- ・ 労働安全衛生法に定める年 1 回の定期健康診断の事業場での確実な実施を指導。特に 9 月を強化月間として周知広報を強化【労働基準監督署】
- ・ 自治会でがん検診についてポスター掲示・回覧等で啓発を実施【北区内】

【行政】

- ・ 市政だより、市ホームページ等の活用や、校区単位の健康まちづくりの中での地域の健康イベント等におけるがんに関する正しい情報提供や啓発の実施
- ・ 一定年齢（62、65、68 歳）を対象に肺がん検診のちらしを個別送付
- ・ 受診率向上等にむけて、関係課によるがん対策ワーキンググループを設置し受診率向上に向けた取り組み計画及び合併町の検診体制について検討した。
- ・ がんに関する悩みや不安への相談対応及び治療法に関する情報発信を行う「がんサポートセンター」を開設（平成 25 年 7 月 1 日）（相談件数：87 件 開設～3 月 31 日）

② 循環器疾患 (P4~5)

【関係機関・団体】

- ・ 特定健診・特定保健指導の実施【県保険者協議会】
H25年度実績(協働事業分):積極的支援184人、動機づけ支援78人
- ・ 自宅での血圧測定の手引き、食事指導・血圧についての知識の普及【日赤健康管理センター】
- ・ 医療機関未受診者に対しハガキによる受診勧奨を実施【日赤健康管理センター】

【行政】

- ・ 特定健診受診率向上のための電話や個別勧奨通知を送付
- ・ 重症高血圧の要治療者に対する受診勧奨
- ・ かかりつけ医と区役所との連携強化のための生活習慣病対策ネットワーク連絡会開催

③ 糖尿病 (P6~7)

【関係機関・団体】

- ・ HbA1cを指標とした医科と連携した糖尿病の管理を目指している。【市歯科医師会】
- ・ セミナー等で糖尿病予防についての正しい理解を持ってもらえるよう普及啓発を行った。
【協会けんぽ】
- ・ 被保険者に生活習慣病予防健診の受診勧奨を強化。被扶養者に対しては、特定健康診査の受診勧奨を実施【協会けんぽ】
- ・ 事業場の産業保健スタッフ等を対象に糖尿病等予防に関する研修会を実施【熊本産業保健総合支援センター】

【行政】

- ・ 世界糖尿病デー関連の講演会や啓発イベント実施
- ・ ICTを活用した健康づくり支援事業
- ・ 糖尿病の要治療者に対して保健師や栄養士による受診勧奨を実施

④ CKD(慢性腎臓病)(P8~9)

【関係機関・団体】

- ・ 重症化予防の観点から高血糖と高血圧に着目した要医療者への受診勧奨を文書や電話で実施【協会けんぽ】
- ・ ICTを活用した健康づくり業務を熊本市より受託し facebook やメールマガジンコンテンツ配信や体重記録表アプリ作成、関連イベントを実施【日赤健康管理センター】

【行政】

- ・ 認知度向上等のための各種イベント等による啓発の実施
- ・ かかりつけ医と専門医との連携を図るためのプロジェクト会議を開催(開催:4回)し、病診連携システムの効果検証等を実施
- ・ CKD予防教室の開催等保健指導の実施
(各区役所でのCKD予防教室:対象者952人/受講者306人:32.1%)
*未受講者については、健康相談や電話等で個別フォローを実施
- ・ 関係機関との協働による取り組みの促進を図るためのCKD対策推進会議開催(4回)

<社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上>

① こころの健康 (P10~11)

【関係機関・団体】

- ・ 熊本市こころの健康センター主催の「包括相談会」に当協会の精神科医師を派遣【熊本県精神科協会】
- ・ 県との共催により「うつ病に対する医療連携のための研修会」を県内各圏域で開催。うつ病の早期発見や早期治療につなげるために、一般かかりつけ医と精神科医との医療連携体制の強化を図った。【熊本県精神科協会】
- ・ 事業場の要請による個別訪問を実施し、メンタルヘルスに関する取り組み支援を実施【熊本産業保健総合支援センター】
- ・ 小中学校では毎月1回いじめに関するアンケートを実施。龍田小学校ではアンケート結果や日頃の観察から個別面談を実施したり、学期に1回は全員面談を実施【小学校長会】
- ・ 労働者の心の健康の保持増進のための指針により事業場を指導【労働基準監督署】

【行政】

- ・ 市民への精神疾患についての啓発のため精神保健福祉普及運動やホームページを活用した啓発、研修会や相談会でのパンフレット配布を実施
- ・ 精神科医師・心理士・保健師等が相談に対応
- ・ 保健・医療・福祉・教育・労働・警察等の関係機関との連携強化を図ることを目的に自殺対策連絡協議会を開催
- ・ 学校においては、スクールカウンセラー、心のサポート相談員等を配置し、児童生徒や保護者が悩み等を相談できる体制を整備

② 次世代の健康 (P12~13)

【関係機関・団体】

- ・ 歯周病と早産との関連性がデータでも示されているので、口腔内の管理を徹底し、妊婦への歯科検診を啓蒙【市歯科医師会】
- ・ 園庭開放や子育て支援室で定期的に子育てサークルを開催し、地域の子育て中の親子の交流場所を提供。必要に応じて子育てについての悩みや相談も受けている。【市保育園連盟】
- ・ 子育て支援の場として就園前の幼児を対象に各幼稚園では「未就園児遊びの会」を設け安心安全な環境の中で親子の交流を図っている。【私立幼稚園協会】
- ・ 主任児童委員として、子育てサークルの活動を支援。基本的な生活習慣の大切さを伝えた。【中央区内】

【行政】

- ・ 親子（母子）健康手帳交付時に妊産婦健康相談を実施。相談日以外でも専門職が対応している。（相談日：3,492件、相談日外3,916件）
- ・ こんにちは赤ちゃん事業の実施
- ・ 地域の中で子どもたちが健やかに育ち、親も安心して楽しく子育てができることを目的とし、育児サークルの育成支援を実施（5区役所：88箇所）

③ 働き盛り世代の健康 (P14~15)

【関係機関・団体】

- ・ 熊本労働局が実施している、心の健康問題について県内の専門医師らに無料で相談できる「熊本産業保健こころの健康アドバイザー事業」に、当協会の会員病院 34 機関が協力【熊本県精神科協会】
- ・ 被保険者は 35 歳から生活習慣病予防健診の受診ができることから 35 歳到達の年度に個別勧奨を行い、若い頃からの健診受診習慣の定着を図った。【協会けんぽ】
- ・ 当所会報誌にて、協会けんぽの協力を得ながら、生活習慣病予防健診や特定保健指導の受診を促す記事掲載を行い、健診の必要性や受診方法などをはじめとした会員事業所への周知を図った。【熊本商工会議所】
- ・ 城西校区では校区の健康まちづくり部会を中心として PTA (小学校) と連携し、30代~40代健康チェックを前年度に引き続き実施【西区内】

【行政】

- ・ 協会けんぽとの健康づくり包括協定に基づいた取り組みを実施 (特定健診結果や医療費分析等を実施。協会けんぽの広報ツールを活用しこころの健康や生活習慣病予防等健康に関する情報提供を行った)
- ・ 校区単位の健康まちづくり中で PTA 団体等と連携を図り、健康チェックや生活実態調査、親子学習会などを実施

④ 高齢者の健康 (P16~17)

【関係機関・団体】

- ・ 通所型介護予防事業で口腔ケアを実施【市歯科医師会】
- ・ 認知症の相談窓口 (当協会会員である精神科医療機関) に関するポスターを作成して関係機関に配布するとともに、当協会ホームページにも掲載【熊本県精神科協会】
- ・ 各ささえりあにおいて、サロン等での転倒予防教室や健康についての講話を開催【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・ 市町村・職域からの依頼を受けロコモ予防、運動機能向上を目的とし高齢者筋力トレーニング教室やストレッチ等を実施【日赤健康管理センター】

【行政】

- ・ 地域の高齢者サロンや老人会等において、栄養指導、運動 (ロコモ予防)、口腔機能の維持等についての健康教育を実施
- ・ 生活機能の低下がみられる高齢者 (二次予防事業対象者) に対し、通所による介護予防事業を実施
- ・ 「認知症サポーター」を養成するための講座を実施

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

① 栄養・食生活 (P18~19)

【関係機関・団体】

- ・ 乳幼児期から食材等の説明を行う等して食育を行っている。また、2 歳児以上から野菜

作りを体験し、食べ物の情報を伝え関心を持つ指導を行っている。【熊本市保育園連盟】

- ・ 講演会「健康～食育について考えよう～」を実施【熊本市PTA協議会】
- ・ 生活習慣病予防を目的とした献立について、小学校区ごとに調理実習を通じて普及・啓発を行う「すこやか食生活改善講習会(熊本市委託事業)」を実施(H25年度実績:93校区 2,192人)【食生活改善推進委員協議会】
- ・ 地域にて、食生活改善を中心とした生活習慣病予防および子ども・高齢者への健康づくりに関する調理実習や啓発活動等(地区組織活動)を実施(H25年度実績:8,067回 64,460人)【食生活改善推進委員協議会】

【行政】

- ・ 朝食欠食の改善、共食の増加に向け、子どもの食育推進ネットワークを通じた食育活動を実施
- ・ 6月の食育月間に食の大切さや食と健康のつながりについて楽しく学ぶイベント「食と健康フェア2013」を動植物園にて開催(参加者6,859人)

② 身体活動・運動 (P20～21)

【関係機関・団体】

- ・ 15分以上歩くことを生活習慣に取り入れるために地域全体に「歩くこと」が健康づくりにつながることを理解する研修会、イベント等を開催【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・ 総合型スポーツクラブの育成・支援を実施【スポーツ推進委員協議会】
- ・ 熊本市民スポーツフェスタを実施し、支援を行い市民が誰もが気軽にスポーツを楽しむきっかけづくりを行った。【スポーツ推進委員協議会】
- ・ 城西校区では関係諸団体と連携し、医療講演会を開催【西区内】

【行政】

- ・ 各種健康イベントや健康教室などを通し、身体活動(生活活動・運動)についての普及啓発を実施
- ・ わくわく健康塾で運動をテーマとした体験型講演会を実施
- ・ 新規公園整備の際に、園路(ゴムチップ舗装)や健康遊具を設置

③ 休養 (P22)

【関係機関・団体】

- ・ 熊本市が実施する「熊本市民健康フェスティバル」に当協会の精神科医を派遣【熊本県精神科協会】
- ・ セミナーや特定保健指導の中で、睡眠や休養の重要性について普及啓発を実施【協会けんぽ】
- ・ 職域の依頼を受けて、睡眠や休養の重要性を含む心の健康の講話を実施【日赤健康管理センター】

【行政】

- ・ こころの健康センターにおいて、ストレス対処法などに関する講話を実施

④ 飲酒 (P23)

【関係機関・団体】

- ・ 特定保健指導及びメタボ予備群の保健指導時、メタボ予防セミナーにおいて適正飲酒の指導を行った。(平成25年度セミナー実績:335人)【県保険者協議会】
- ・ 特定保健指導やセミナー実施時に適正飲酒の普及啓発を実施【協会けんぽ】

【行政】

- ・ 各種イベント等を活用した適性飲酒に関する啓発を実施
- ・ 妊娠中や授乳中の飲酒防止のため、妊産婦健康相談を実施し、相談日以外でも専門職が対応している。

⑤ 喫煙 (P24~25)

【関係機関・団体】

- ・ 妊婦歯科健診に来られた妊婦さんには喫煙が赤ちゃんに与える影響について説明【市歯科医師会】
- ・ 熊本赤十字病院と連携し禁煙治療を提供【日赤健康管理センター】
- ・ 受動喫煙防止のため、中小企業事業主が喫煙室を設置する場合は、上限200万円で費用の1/2を助成する制度があることを周知広報した。【労働基準監督署】
- ・ たばこや薬物等上級生を中心に学校保健委員会等でテーマとして取り上げ学びの場としている。保護者も参加している。【小学校長会】

【行政】

- ・ わくわく健康塾において、COPDの認知度向上のための講演会を開催
- ・ 小学校からの依頼に基づき、小学生及び保護者に禁煙支援・受動喫煙防止の講習を実施

⑥ 歯・口腔の健康 (P26~27)

【関係機関・団体】

- ・ 毎年、熊本市民健康フェスティバルで8020達成者を表彰し、8020の大切さを啓発している。【市歯科医師会】
- ・ 地域の8020推進員と一緒にサロンなどで「長息応援隊」(検査・ゲーム)を開催し、口腔ケアの大切さを伝えている。【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・ 小学校・幼稚園・保育園で健康教室への参加(むし歯予防の劇や紙芝居の実施、染め出しへの協力など)【8020健康づくりの会】

【行政】

- ・ 保育園・幼稚園でのフッ化物洗口を実施(実施園:208園中100園)
- ・ 小学校でのフッ化物洗口普及モデル事業の拡大に向け、歯科関係団体協力のもと、学校、保護者への説明会や地域での啓発を行い、3校がモデル校として実施

<健康を支え守るための社会環境の整備>

① 小学校区単位の健康まちづくり (P28~29)

【関係機関・団体】

- ・ 高平台校区では校区の様々な活動・行事（どんどこや、坪井川クリーン作戦、大運動会、小学生球技大会、ミニバレー大会等）に健康づくりの要素を取り入れ健康まちづくり活動に取り組んでいる。その一環としてチビッコ IN 高平台で北区保健子ども課の医師、保健師による健康チェックを実施したり、ウォーキング大会では健康相談コーナーを設けている。【北区内】
- ・ 向山校区では自治協主催の健康まちづくり活動として、「安心安全のまちづくりは一人ひとりの健康から」を合言葉に「向山校区ふれあいウォーキングクラブ」（参加登録者170人）活動を開始。保健師や九州中央リハビリテーション学院にご協力いただき、ウォーキングのすすめとともに、歩き方やストレッチなどの教室や校区内外のウォーキング大会を開催【中央区内】

【行政】

- ・ 全市的な取り組みを推進するため、校区自治協議会等の関係者による活動報告会を実施
- ・ 健康まちづくりの取り組みの成果を共有し活動の更なる推進を図ることを目指し、関係課からなるプロジェクト会議を設置し、成果指標や評価方法を検討し、「評価の手引き」を策定した。

② 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援 (P30～31)

【関係機関・団体】

- ・ 「健康づくり支援者研修会」を青少協、体協、PTAなどにも働きかけ開催し、若い世代の参加もあった。【地域包括支援センター連絡協議会】

【行政】

- ・ 食生活改善推進員の養成講座を開催し、活動の支援を実施（養成数：92人）
- ・ 8020推進員の養成講座を開催し、活動の支援を実施（養成数：60人）
- ・ 健康まちづくりサポーターの養成

③ 企業・大学等の健康づくり活動の促進 (P32～33)

【関係機関・団体】

- ・ 赤十字健康講座(子宮頸がん)への学生参加協力を大学や専門学校に呼びかけを行った。【日赤健康管理センター】
- ・ 労働安全衛生法に定める衛生委員会の付議事項に関して「健康の保持増進」の項目があり、各事業場における実施状況を確認している。【労働基準監督署】

【行政】

- ・ 全国健康保険協会（協会けんぽ）熊本支部と、健康づくりに関する包括協定に基づく取り組みを実施
- ・ 各区における大学生等の食事に関する実践力アップのための食育実践講座を開催
- ・ 大学生を対象とした歯たちの健診を実施

II 平成 26 年度の取り組み

「がん」対策については、受診率向上に向け、行政及び市民、関係機関・団体等がそれぞれに取り組み計画を策定し、その計画に基づき取り組みを推進する。

「CKD対策」については、腎機能検査の実施率を高めるために特定健診の受診率向上を図るとともに、事業開始後 5 年間を経ての検証・事業評価を行い、第 2 ステージに向けて今後の方針について検討を行う。

次に、「校区単位の健康まちづくり」では、各校区の地域特性や健康課題に応じた取り組みを継続するとともに、平成 25 年度に策定した「評価の手引き」を活用し、評価を可視化することで、さらに、取り組みの推進を図る。また、健康まちづくりをテーマに「市政リレーシンポジウム」を開催し、各区の活動状況等の発信と共有により更なる取り組みの推進を図る。

*平成 25 年度の取り組みの継続を基本とし、新たに見直しや工夫を行った事項について記載

○ 主な取り組み等 ※ページ数は「資料 1-2：具体的な施策の展開シート」のページ数

<生活習慣病の発症予防と重症化防止の徹底>

① がん (P1~3)

【関係機関・団体】

- ・ 熊本都市バスに全車体ラッピングを実施（熊本市内走行中）【がん予防協会】
- ・ 若年層への人間ドック受診喚起のための映像制作【日赤健康管理センター】
- ・ 講演会「大腸がん撲滅大作戦」その他イベント実施予定【がん予防協会】
- ・ 当所会報誌『商工ひのくに』（月刊・発行部数 6,600 部）のコーナー「情報のひろば」において、がん検診に関する記事を掲載。事業所への浸透をはかる。【熊本商工会議所】

【行政】

- ・ 協会けんぽ加入者に、集団検診の受診を勧奨する（植木地区の集団検診）
- ・ 生活習慣病ネットワーク連絡会にて、各種がん検診受診率向上のための環境づくりについて検討する。
- ・ 大腸がんについては、5 歳刻みの方を対象に無料クーポン券を送付（49,590 人）。
- ・ 乳がん及び子宮頸がんについては、平成 21～24 年度の間検診未受診者を対象に無料クーポン券の送付（乳がん：62,361 人、子宮頸がん：61,666 人）。また、受診者を対象に定期受診を促す個別勧奨を実施
- ・ がん対策を推進する企業と 2 社とがん対策企業等連携協定を締結（H26.7.2）
- ・ 子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診啓発パンフレットの作成にあたり、効果的な広報ツールとするため関係機関（協会けんぽ、がん協定企業や大学生等）とのワーキンググループの設置。

② 循環器疾患 (P4~5)

【関係機関・団体】

- ・ 熊本日日新聞暮らし面で、「働きざかりの健康が危ない」と題し、テーマごとの記事掲載 (全 24 回) 【協会けんぽ】

【行政】

- ・ 市民医療講演会のテーマを、「脳血管疾患及び心疾患」として開催し、病気や市内の医療機関で実施されている優れた治療技術について、医師が市民に分かりやすい説明を行う
- ・ 特定健診受診率向上のため、医療機関と治療中者に対する受診勧奨の取り組み強化、協会けんぽとの共同事業の実施

③ 糖尿病 (P6~7)

【関係機関・団体】

- ・ 高血糖に着目してデータヘルス計画を策定予定 【協会けんぽ】

【行政】

- ・ 校区単位の健康まちづくりの取り組みにおける健康づくりコーナー等において「けんつく会 (健康をつくるボランティア医師の会)」の協力のもと簡易血糖検査器を活用した住民への啓発を行う

④ CKD (慢性腎臓病) (P8~9)

【関係機関・団体】

- ・ 防災避難訓練と健康フェスタにおいて、今年度は健康コーナーを拡充して、がん検診の受診促進や生活習慣病予防のためのウォーキング活動の推進を図る予定。【中央区内】

【行政】

- ・ 事業開始後 5 年を経たの検証・事業評価を行い、第 2 ステージに向けて今後の方針について検討を行う。
- ・ CKD 対策事業の一環として減塩食実践講座を実施
- ・ CKD 対策事業の一環として食事で防ぐ高血圧教室を実施

<社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上>

① こころの健康 (P10~11)

【関係機関・団体】

- ・ 職場でスモールチェンジ事業の中で、心の健康づくりに関しても主体的に取り組んでもらう予定で、ストレス対処法の実践や事業所内の環境整備も行ってもらえるよう働きかけを行う。【協会けんぽ】
- ・ 平成 27 年 12 月までに医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査 (ストレスチェック) を実施することが義務化される予定 (労働者数 50 人の事業場は当分の間努力義務) 【労働基準監督署】

【行政】

- ・ 平成 26 年 10 月からひきこもり支援センター (仮称) を設置し、対象者及び家族の支援

を強化する。

② 次世代の健康 (P12~13)

【行政】

- ・ 各区管内の子育て支援ネットワークの代表と協働で、子育て支援ネットワークの活動目標を具体化し、活動の充実を図る。

③ 働き盛り世代の健康 (P14~15)

【関係機関・団体】

- ・ 熊本大学政策創造研究教育センター開発の若年者向けアプリの試行【協会けんぽ】
- ・ まちづくり委員会の会議やイベントで顔を合わす機会が多い幼小中の PTA 役員さんたちに、がん検診や特定検診の受診を勧め、将来的には PTA 活動の中で、健康づくり活動に取り組んでももらいたいと考えている。【中央区内】

【行政】

- ・ がん対策を推進する企業と 2 社とがん対策企業等連携協定を締結 (H26.7.2) (再掲①がん)

④ 高齢者の健康 (P16~17)

【関係機関・団体】

- ・ 「15 分つづけて歩こうプロジェクト」活動を校区保健師と一緒に進めており、ウォーキングの効果を測定するための検査を予定。【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・ 認知症予防教室 (前期高齢者のための) を H26 年 10 月に開催予定。【地域包括支援センター連絡協議会】
- ・ 高齢者に必要な栄養や手軽にできるウォーキングや体操など転倒予防について高齢者向けの健康管理について内容を検討する。【南区内・他】

【行政】

- ・ 地域で認知症の方を支える仕組みづくりの一環で、認知症の現状と対応を理解してもらうことを目的に、認知症徘徊模擬訓練を行う。(西原校区)

<健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり>

① 栄養・食生活 (P18~19)

【関係機関・団体】

- ・ 特定保健指導対象者への管理栄養士による手軽にできるヘルシー料理の紹介【協会けんぽ】

② 身体活動・運動 (P20~21)

【関係機関・団体】

- ・ 職場でスモールチェンジ事業の中で、事業所として取り組める運動の提案を実施【協会けんぽ】

- ・ 熊本城マラソンにボランティアとして参加しスポーツ振興の啓発・支援を実施【スポーツ推進委員協議会】
- ・ 健康ウォーキング・ジョギング講座をとおして、運動習慣獲得のための活動を行う。市で行われている運動・スポーツのイベントを紹介する。【南区内・他】

【行政】

- ・ ICT を活用し、健康まちづくりに積極的に取り組んでいる校区の 30～59 歳の区民 100 人をモニターとして、約 2 ヶ月間のウォーキング状況と血圧、体組成計の身体状況を把握。終了後は区内の運動施設と連携し、個人に合った運動プログラムを作成、指導し、運動に積極的に親しむ環境づくりを行うと共に、健康づくりリーダーの育成を行う。

③ 休養 (P22)

【行政】

- ・ 地域の各種健康イベント等を通して、健康づくりのための「睡眠指針 2014」の内容について啓発を実施

④ 飲酒 (P23)

【関係機関・団体】

- ・ アルコールについてのパンフレット作成【日赤健康管理センター】

⑤ 喫煙 (P24～25)

【関係機関・団体】

- ・ 熊本大学生命科学研究部と協定を締結して、COPD の認知度の向上のための取組みを行う。【協会けんぽ】
- ・ パンフレットの作成【日赤健康管理センター】
- ・ 平成 27 年 6 月までに、室内又はこれに準ずる環境下で労働者の受動喫煙を防止するため、事業者及び事業場の実情に応じ適切な措置を講ずることが努力義務とされる。【労働基準監督署】

【行政】

- ・ 小学生を対象に禁煙啓発ポスターコンテストを実施。ポスターを作成し、庁内関係課やがん対策協定企業へ配布予定（再掲①がん）

⑥ 歯・口腔の健康 (P26～27)

【関係機関・団体】

- ・ 歯周疾患・歯の喪失防止のため、「生活歯援プログラム」を活用【協会けんぽ】
- ・ フッ化物洗口実施小学校でのボランティアでの協力【8020 健康づくりの会】

【行政】

- ・ 小学校でのフッ化物洗口の本格実施に向け、効果的な実施方法等の検討を行うとともに、学校や保護者への効果や安全性についての周知を図る。

＜健康を支え守るための社会環境の整備＞

① 小学校区単位の健康まちづくり（P28～29）

【行政】

- ・ 各校区において地域特性に応じた取り組みを継続するとともに健康まちづくりをテーマとする市政リレーシンポジウムを開催し、活動状況等共有による更なる推進を図る
- ・ 医療機関との連携を図り、特定健診受診向上に向け強化月間の協働実施予定（生活習慣病対策ネットワーク会議との連携）

② 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援（P30～31）

【関係機関・団体】

- ・ 1つの校区で「健康づくり支援者研修会」を3回シリーズで開催。【地域包括支援センター連絡協議会】

【行政】

- ・ 「けんつく会（健康をつくるボランティア医師の会）」が校区単位の健康まちづくりを支えるボランティア団体として活動することを支援する

③ 企業・大学等の健康づくり活動の促進（P32～33）

【関係機関・団体】

- ・ 子育て世代への啓発のために近隣幼稚園と協力し、イベント時などに健康啓発活動を実施予定【日赤健康管理センター】

【行政】

- ・ 子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診啓発パンフレットの作成にあたり、効果的な広報ツールとするため関係機関（協会けんぽ、がん協定企業や大学生等）とのワーキンググループの設置。（再掲①がん）